

平成22年度
教育委員会活動の点検・評価報告書



町民創作ミュージカル「えらぶ百合物語」劇団あしびのメンバー

知名町教育委員会

平成23年9月

点検・評価の概要

1. はじめに

平成19年6月に「地方教育行政の組織および運営に関する法律」の一部改正により、すべての教育委員会が「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価」を行い、その結果に関する報告書を作成して議会に報告するとともに、地域住民に対して公表するように義務づけられた。また、その実施にあたっては、学識経験者の知見を活用するよう義務づけられている。

2. 点検評価の実施について

この点検評価は、教育委員の会議による審議状況や教育委員による調査活動と、教育委員会の事務事業の執行状況について、実績や成果と課題を記述し、次に示す4区分により達成度の評価を行った。

点 数	内 容
4	順調に達成しているもの
3	おおむね順調に達成しているもの
2	達成見込みがあるが課題があるもの
1	順調でないもの

3. 知名町教育委員会の取組方針

今回で3回目となり、前回平成21年度の点検・評価を踏まえ、同様に評価項目を4段階での数値評価とした。前回は教育委員会関係と学校教育関係の2項目とし、今回の評価項目は、社会教育関係、公民館関係、図書館関係について、教育委員5名による自己点検、自己評価を実施した。平成23年3月の定例教育委員会で結果を集約し、同日開催の評価委員会において評価委員3名と話し合いを行った。後日、評価委員に意見をいただき、集約したものを本報告書に入れ、平成23年9月の第3回議会定例会で報告することとした。

- (1) 社会教育関係では、評価項目を「(1) 社会教育指導体制の充実」「(2) 青少年教育の充実」「(3) 芸術文化活動の促進」「(4) あしびの郷・ちなほの活用」「(5) 文化財の保存活用」「(6) スポーツ・レクリエーションの推進」の6項目とし、点

検評価を行った。

生涯学習課の年間の行事，各種協議会開催内容，文化活動，文化財の活用，スポーツ大会開催状況やそれらの資料，課長の説明質疑をもとに，4段階の数値による評価と記述による意見をまとめた。

- (2) 公民館関係では，評価項目を「(1) 公民館講座の充実」「(2) 自治公民館長研修会の充実」「(3) 短歌コンクールの実施」「(4) 町民作品展示会の開催」「(5) コミュニティーづくり推進協議会の開催」「(6) 成人式の実施」の6項目とし，点検評価を行った。

町公民館の年間をとおした各種講座の継続など，各種事業の開催状況やそれらの資料，館長の説明質疑をもとに，同様の数値による評価と記述による意見をまとめた。

- (3) 図書館関係では，評価項目を「(1) 図書館運営の充実」「(2) お話宅配便の充実」「(3) 図書館まつりの充実」「(4) ブックスタートの充実」「(5) おはなしの時間の充実」の5項目とし，点検評価を行った。

お話宅配便の実施など，図書類の年間をとおした活用推進，各種事業の開催状況について，館長の説明質疑をもとに，同様の数値による評価と記述による意見をまとめた。

点検・評価結果

1 社会教育関係

評価項目	評価の観点	評価
(1) 社会教育指導体制の充実	<p>社会教育指導体制の充実を図り、町民の多様な学習要求に応えて、学習機会の拡充と学習の気運づくりに努めているか。</p> <p>(反省・意見)</p> <p>社会教育法に基づき、社会教育委員会を開催し、社会教育に関する諸立案や意見交換を行った。</p> <p>社会教育委員会が年1回しか開催されていない。</p>	2.8
(2) 青少年教育の充実	<p>家庭や地域の教育機能の活性化を図り、実践活動を通して、豊かな心をもった青少年の育成と自主活動ができる青少年団体の育成が図られているか。</p> <p>(反省・意見)</p> <p>青少年育成連絡協議会(年4回)を開催し、地域こども会活動の活性化を図った。</p> <p>青少年にふるさとのよさを再発見させ、地域ぐるみで青少年を育てる気風づくりを促進するため、青少年ふるさと美化活動を実施した。</p> <p>活力ある地域作りを目指し、主体的に取り組むジュニアリーダーを養成するため、高校生を大島地区ジュニアリーダー研修会に参加させた。</p> <p>青少年の健全育成を目指したPTA活動のあり方について研究協議をするとともに、会員相互の資質の向上と連携を深めることを目的とした、知名町PTA研究大会を実施した。</p> <p>住吉貝塚について学び、ふるさとの歴史・自然環境にふれるとともに、活動を通して自分のふるさとに誇りをもてる子どもの育成を図るため、地区子供会大会を実施した。</p> <p>凧作りの難しさや誰の凧が一番揚がるかを競い楽しむことを目的とした、「えらぶっ子のつどい」を実施した。</p> <p>天候不良のため、サマーキャンプを行う事が出来なかった。</p>	3.2
(3) 芸術文化活動の促進	<p>町民の多様な芸術文化活動を支援するとともに、芸術文化団体及び知名町の文化を担う青少年の育成強化が図られているか。</p> <p>(反省・意見)</p> <p>文化協会主催(教育委員会共催)による五月の祭典を開催し、芸術文化団体に舞台発表の機会を提供した。</p> <p>生涯学習フェスティバルにおいて、文化協会加盟団体による舞台芸術発表会及び公民館講座生による舞台発表・作品展示を行った。</p> <p>青少年、一般の意欲的な音楽発表の機会を提供し、演奏技術を育てるため沖永良部音楽コンクールを開催した。</p> <p>知名町の文化を担う青少年の育成強化を目的とした、子ども芸能祭を開催した。</p> <p>地域独自の文化である島唄島ムニを保存継承するため島唄島ムニ大会を開催した。</p>	3.5

<p>(4) あしびの郷・ちなほの活用</p>	<p>あしびの郷・ちなほの効率的な運用と自主文化事業による住民参加型事業・鑑賞事業等の拡充が図られているか。また、文化ホール開館10周年を迎えるが記念事業は行われたか。</p>	
	<p>(反省・意見)</p>	
	<p>あしびの郷・ちなほ開館10周年を記念して、下記の民謡・クラシック・演劇・伝統芸能・ミュージカル等、多彩なイベントを行った。</p>	
	<p>6月1日にNHK公開録音「民謡を訪ねて」を行い、地元から川畑先民氏が出演した。</p>	
	<p>7月24日にカナダのジェイミー・アドキンスによる一人サーカスを上演し、夏休みに親子で楽しめる作品として町民から好評を得た。</p>	
	<p>8月27日に町民カラオケ大会を実施し、町民誰もが参加できる場を提供した。</p>	
	<p>10月4日にノーマンシェトラーパーピアノコンサートを実施し、クラシック音楽鑑賞の場を町民に提供した。</p>	
	<p>10月15日に青年劇場によるキュリー婦人物語「キュリーキュリー」を上演し、小・中学生に演劇鑑賞の場を提供した。また、劇団あしびのメンバーが共演し、演劇の楽しさを学んだ。</p>	
	<p>10月30日に秋の夜長コンサートを実施し、地元音楽家に音楽発表の機会を提供するとともに、町民に音楽鑑賞の場を提供した。</p>	
	<p>11月27日に知名町伝統芸能祭を開催し、町民に伝統芸能鑑賞の場を提供した。また、今回の芸能祭を契機に各地域において、伝統芸能の保存・継承が図られた。</p>	
	<p>12月4日に知名字芸能祭を開催し、史実に基づく寸劇等新たな文化を創造するとともに、御前風等集落に伝わる伝統芸能の継承が図られた。</p>	
	<p>平成23年1月22日に鹿屋市の高校生ミュージカル「ヒメとヒコ」で知られる松永太郎さんが脚本・演出を手掛けた、町民創作ミュージカル「えらぶ百合物語」公演を行い、新たな舞台芸術作品を創造するとともに、心温まるストーリーと演技で客席を感動の渦に巻き込んだ。 物語は、えらぶ百合産業の祖として知られる実在の人物「アイザック・バウンディング」に光をあて、松永さんが史実に創作を加え、得意のファンタジーをたっぷり織り交ぜて書き上げた。観客は、100年前の沖永良部で繰り広げられる、アイザックと島の娘ナミとの悲恋に涙し、出演者のはつらつとした演技に大きな拍手と惜しめない賞賛を送った。</p>	
	<p>町民創作ミュージカル「えらぶ百合物語」は今回初演であったが、今後も、町民参加の舞台芸術の素晴らしさを伝えて行くために、継続して上演していきたい。</p>	
	<p>平成23年3月12日に今年で11回目となる、南西航空音楽隊ファミリーコンサートを予定していたが、3月11日に三陸沖を震源とする東日本大地震が発生し、津波や火災で多数の死傷者が出たことを受け中止することとした。ファミリーコンサートは、町民に喜ばれるイベントなので、来年以降、南西航空音楽隊と共同企画し実施していきたい。</p>	

<p>(5) 文化財の保存活用</p>	<p>歴史的な文化遺産や伝統芸能、埋蔵文化財の調査・保存・啓発活動は推進されているか。</p> <p>(反省・意見)</p> <p>全郡の取り組みとして地域の文化遺産について悉皆調査・リスト作成を実施し、地域遺産の掘り起こしを図った。</p> <p>史跡めぐりや講習会、子ども会の体験事業を通して町内の文化財の普及啓発を図った。</p> <p>国指定史跡住吉貝塚の整備に向け企画委員会・先進地視察を開催した。</p> <p>開発に伴う遺跡の調査立ち会い、報告書作成を実施した。</p>	<p>3.6</p>
<p>(6) スポーツ・レクリエーションの推進</p>	<p>町民のニーズに対応したスポーツイベントを開催し、町民参加型の拡充に努めているか。また、スポーツや健康づくりに関する情報を提供し、生涯スポーツの普及に努めているか。</p> <p>(反省・意見)</p> <p>町民すべてが一同に会し、スポーツやレクリエーションを通して健全な心身の鍛練と、融和や団結を図ることを目的として町民体育大会を開催した。</p> <p>町体育協会に所属する各種スポーツ連盟がスポーツ大会を開催した。</p> <p>スポーツ少年団によるサッカー・バレーボール等各種大会を開催した。</p> <p>駅伝を通して、スポーツ活動の振興を図り、両町の親睦・交流を深めることにより、活気ある島づくりに資することを目的とした、沖永良部島内一周駅伝競走大会を実施した。</p> <p>町民の親睦・融和を図るため、町内一周駅伝競走大会を実施した。</p> <p>知名町に適した総合型地域スポーツクラブの設立。 日本における生涯スポーツ社会の実現を掲げて、文部科学省が実施するスポーツ振興施策で、幅広い世代の人々が、各自の興味関心・競技レベルに合わせて、さまざまなスポーツに触れる機会を提供する、地域密着型のスポーツクラブ。文科省の計画では、「全国各市町村に少なくとも1つの総合型地域スポーツクラブをおく」としているが、本町は、まだ設立されていない。今後、本町に適した総合型地域スポーツクラブの設立に向けた取り組みを展開していく。</p>	<p>3.6</p>

2 公民館関係

評価項目	評価の観点	評価
(1) 公民館講座の充実	公民館は、町民が生涯の各時期を通して学習の機会が得られるように配慮しつつ、町民のニーズに対応するべく多様な講座、教育等を提供する。また、学習意欲を高め、自主的、主体的な学習活動への参加促進を図った。 白百合大学校1教室 受講生(46人) 中央公民館講座11教室 受講生(151人) 地区公民館講座4教室 受講生(74人) 短期講座2教室 受講生(23人) 自主講座 2教室 受講生(17人) 講座総勢(311人)	3.4
	(反省・意見) 公民館講座に於いて、各教室とも自発的に充実した習い事が出来ているが、白百合大学校においては、講師の先生の選択等に苦慮し問題がないか、再度検討が必要である。また、毎年来年度へ向けた検討会が持たれていないので、本年度から検討会を持つようにする。	
(2) 自治公民館長研修会の充実	事例発表を交えた自治公民館長(区長)研修会を開催、集落がかかえている問題等について検討が図られているか。	3.2
	(反省・意見) 毎年字持ち回りで研修会を行っている。字の問題等関係は、積極的に意見、質問等があるが、その他については把握しているのか、意見等があまりないので今後どのように進めていくか検討しなければならない。	
(3) 短歌コンクールの実施	応募総数820点 小学生の部(388点) 中学生の部(416点) 一般の部(16点) それぞれ短歌大賞・優秀賞・奨励賞・入賞を選出し、毎年11月に生涯学習フェスティバルで表彰及び展示をしている。	3.6
	(反省・意見) 現在、小学校から短歌に親んでもらい底辺拡大するためにコンクールを募集しているが、小学生・中学生と比べて、一般の応募が少ない。今後一般の方々に興味を喚起し、応募が多くなるような工夫が必要である。	
(4) 町民作品展示会の開催	中央公民館の展示コナに作品が展示されているか。	3.6
	(反省・意見)	
	竹細工コナに竹細工が展示されるよう提供した。	
	本年度は、図書館20周年記念行事等があり、講師の「よしながこうたく先生」の絵を展示コナに展示した。 本年度は、図書館20周年記念式典であしびの郷に展示し、また、公民館にも展示した。	

(5) コミュニティづくり推進協議会の開催	重点実践事項の協議及び町民の実践「申し合わせ事項」の審議，平成21年度から年度末の2月頃に開催し，次年度の方針を決めることになったが守られたか。	2.8
	(反省・意見) 重点実践事項の協議及び町民の実践「申し合わせ事項」については，まだまだ町民に浸透するため時間が必要である。	
(6) 成人式の実施	対象者 95名中85名参加，男子49名，女子36名 平成23年1月2日に，おきえらぶ文化ホール「あしびの郷・ちな」で開催	4
	(反省・意見) 毎年成人式には，新成人者で司会，アトラクション等を計画させ盛上がりを見せている。また，記念植樹も行い毎年90%以上の方々が参加している。	

3 図書館関係

評価項目	評価の観点	評価
(1) 図書館運営の充実	<p>職員 館長(公民館長兼任)1名 司書1名 臨時職員1名 パート2名 休館日月曜、祝日、月末資料整理日、年末年始、特別資料整理期間 資料費270万円 (図書費168万円、雑誌、新聞ビデオ127.8万円) 蔵書数53,025冊(うち児童蔵書18,109冊) 町民一人当たり7.66冊 リクエスト受付 586件</p> <p>(反省・意見)</p> <p>本の貸出冊数は、常に県下で2番～3番である。町民一人当たりの貸出冊数7.66冊は県下で三番めである。</p> <p>リクエスト受付 586件 町民に本に親しんで貰えるための取組についての立案が必要である。</p>	4
(2) お話宅配便の充実	<p>5月と11月の読書週間に合わせ、各学校区の公民館を巡回して絵本の読み聞かせ・パネルシアター・エプロンシアターなどを実施し、子供達が本に親しみが持てるよう図った。 総参加者数 327名 貸し出し総数 149冊</p> <p>(反省・意見)</p> <p>子ども達が327名も参加したことは、ある意味努力が報われたと考え、本に親しむ子供が増えたと考えられる。</p> <p>もっと、親子で参加して貰うための時間帯や内容を工夫していく。</p>	3.6
(3) 図書館まつりの充実	<p>年1回、図書館まつりがあり、保護者・昔話で絵本づくりの会と知名町立図書館職員で絵本の読み聞かせ、エプロンシアター・ペープサート等を実施し、子供達が本好きになるように図った。 総参加者数 200名</p> <p>(反省・意見)</p> <p>図書館まつりにおいては、親子読書会及び絵本作家の長谷川義史先生を招聘して行い、多くの参加が得られた。</p> <p>町内の行事と重ならないよう、また、町民のニーズにあった作家さんをお呼びするようアンケートなど実施していく</p>	3.8
(4) ブックスタートの充実	<p>年6回 図書館にて6ヶ月の幼児を対象に、オススメ絵本2冊、よだれかけ、県立図書館絵本ガイド等が入った「ブックスタートバック」を配布しているが、多くの親が来られているか。 18名</p> <p>(反省・意見)</p> <p>よく図書館に来られる方がいる反面、あまり本に親しみのない方も多いので、今後來館のない親への呼びかけをどのように推進していくか、課題である。</p>	3.2
(5) おはなしの時間の充実	<p>毎月第2・4土曜日にその月のテーマにあった絵本・紙芝居・エプロンシアター等の実施と簡単な工作を行っているが、子ども達は絵本・紙芝居等を通じて本好きになっているか。 参加者数 136名</p> <p>(反省・意見)</p> <p>知名地区の子供達が毎回参加しているように思う。それ以外の校区の子供達が来てくれるように、今後周知を図っていく。</p>	3.4

教育行政評価委員意見まとめ

1 社会教育関係について

(1) 社会教育指導体制の充実

社会教育委員会を開催することにより、委員からの適切な指導助言が得られていると思われるが、社会教育体制を充実させるためにも委員会の開催回数を検討すること。

(2) 青少年教育の充実

青少年育成連絡協議会の開催や「ふるさと美化活動」「ジュニアリーダー研修会」「地区子供会大会」「えらぶっ子のつどい」等青少年育成のための多彩な取り組みがなされている。また、青少年の健全育成を目指した「知名町PTA研究大会」も実施されている。

今後は、どうすれば未来の知名町を担う青少年を地域全体で見守り育てていく体制づくりが出来るか、検討すること。

(3) 芸術文化活動の促進

五月の祭典や生涯学習フェスティバルにおける舞台発表・作品展示、青少年、一般の演奏技術を育てるための「沖永良部音楽コンクール」、知名町の文化を担う青少年の育成強化を目的とした「子ども芸能祭」、地域独自の文化である島唄島ムニを保存継承するための「島唄島ムニ大会」の開催等、芸術文化の振興、町民の楽しみと豊かな情操と潤いある生き生きとした町づくりを推進するための取り組みや町民の生涯学習の発表の場が提供されている。

今後も芸術文化活動の促進のため、更に取り組んでいくこと。

(4) あしびの郷・ちなほの活用

知名町生涯学習推進の拠点施設として、NHK公開録音「民謡を訪ねて」、カナダのジェイミー・アドキンスによる「一人サーカス」、ノーマンシェトラーパーノコンサート」、青年劇場によるキュリー婦人物語「キュリーキュリー」等国内外の優れた舞台芸術鑑賞の場が提供されるとともに、「町民カラオケ大会」地元音楽家による「秋のふれあいコンサート」等、町民参加の場が提供されている。

また、知名町伝統芸能祭を開催したことにより、各地域において、伝統芸能の保存・継承が図られる機会となった。さらに、えらぶ百合産業の祖として知られる実

在の人物「アイザック・バウンディング」に光をあてた，町民創作ミュージカル「えらぶ百合物語」公演は、沖永良部独自の新たな舞台芸術作品として町内外から賞賛が送られた。

平成22年度は、開館10周年として数々の記念事業が行われたが、これからも知名町の文化の殿堂として地域に根ざした取り組みを続けていくとともに、町民に夢と感動を与える様な事業を展開するよう要望する。

(5) 文化財の保存活用

ふるさとの貴重な文化財を保護し後世に残していくことは、行政の責務である。現在行っている「史跡めぐり」や「子ども会体験事業」を通しての文化財普及啓発活動を今後も継続していただきたい。

また、国指定史跡住吉貝塚の整備計画を推進し、住吉暗川や住吉小学校のガジュマル等との一体的な整備計画を策定するよう要望する。

(6) スポーツ・レクリエーションの推進

知名町では、町民のスポーツやレクリエーションを通して健全な心身の鍛練と、融和や団結を図ることを目的として開催する「町民体育大会」や町体育協会に所属する各種スポーツ連盟のスポーツ大会、スポーツ少年団によるサッカー・バレーボール等各種大会及び町民の親睦・融和を図るための「町内一周駅伝競走大会」等、町民総ぐるみの健康づくり、体力づくりを促進するための各種スポーツ大会が開催されていることは大変有意義なことであると思う。

今後は、幅広い世代の人々が、各自の興味関心・競技レベルに合わせて、さまざまなスポーツに触れる機会を提供することを目的として、国が推進している「総合型地域スポーツクラブ」の設立に向けた取り組みを続けてもらいたい。

2 公民館関係について

(1) 公民館講座の充実

公民館講座に於いて、各先生方の指導のもと自発的に充実した習い事が出来るように努力し推進しており、白百合大学校においては、講師の先生の選択等に苦慮しながらも努力している。来年度へ向けて早めに講師の検討会を持つよう要望する。

(2) 自治公民館長研修会の充実

事例発表を交えた自治公民館長（区長）研修会を開催し、毎年持ち回りで研修会を実

施している。共通した地域づくりの課題等の解決など、積極的に取り組んでもらいたい。

(3) 短歌コンクールの充実

一般の応募が少ないなどの課題が見えているようですので引き続き取り組んで下さい。

(4) 町民作品展示会の開催

毎年、竹細工を展示、また本年度は、図書館20周年記念行事で講師の「よしながこうたく先生」の絵を展示し、大勢の子ども町民が観に来られ盛況とのことでした。今後も見慣れないものやめずらしい物を、沢山工夫してもらいたい。

(5) コミュニティづくり推進協議会の開催

本年度は、区長会に回り知名町全体で、御祝い持参金・忌明け等3,000円と明記し、開封までするよう申し合わせをするなど、地域づくりを推進している。申し合わせ事項の厳守等に時間をかけて推進する必要がある。

(6) 成人式の実施

成人式は、新成人者での企画立案しての実施で、盛況のようです。せっかくの晴れの成人式です。ご家族、町民の参加がもっと増えたらと思います。

3 図書館関係

(1) 図書館運営の充実

大勢の町民が図書館を利用しており、県内でも貸出冊数も上位にランクされているようです。さらに本に親しんで貰えるよう推進して下さい。

(2) お話宅配便の充実

職員がいろんな企画・事業を実施しているようです。子ども達が本に親しむよう推進して下さい。

(3) 図書館まつりの充実

毎年いろんな企画を考え、内容も充実しているようです。更に知恵を出し合ってください。

(4) ブックスタットの充実

頑張っているようですが、来館のない方たちにも関心を持たせることができる方策の検討が必要。

(5)おはなしの時間の充実

いろんな方法で子ども達が本好きになるように工夫している。

総評

点検評価委員は、22年度については教育委員会が行う社会教育、図書館、公民館の分野ごとの事業概要について、教育委員会委員、関係課長等からそれぞれ関係資料並びに1年間の事業実施の成果反省等も含め説明を受け、また、教育委員会各事業への参加経験も踏まえ、点検評価を致しました。

今回、対象とした生涯学習課、図書館・公民館はそれぞれ「文化ホール開館10周年記念事業」、「図書館開館20周年事業」などで新規の各種事業が多く計画され、職員全員で大きな成果をあげることができたものと評価します。

今後、積み上げた成果をさらに推進するために、教育環境の整備を図りながら、今回の事業ごとの反省内容を踏まえ、生涯学習への取り組み、地域コミュニティー作りなどを連携して推進してもらいたい。

〔資料〕

教育行政評価委員名簿

役 職 等	氏 名
元町議会議員	熊 野 八 郎
元 学 校 長	富 田 克 彦
保 育 園 長	神 崎 千 恵 子

知名町教育委員会 教育委員名簿

職 名	氏 名
委 員 長	春 日 哲 裕
委 員	沖 田 吉 弘
委 員	宮 山 一 夫
委 員	中 田 昭 美
教 育 長	大 山 修